

交通死亡事故 非常事態宣言発令

死亡事故多発

市内で交通死亡事故が多発。まさに非常の事態

約1ヶ月間で5人。4月9日から5月10日までに市内で発生した交通事故で亡くなった人の数です。昨年は一年間で3人、一昨年は4人。今年はいかに交通死亡事故が多発しているかが分かります。

これを受けて小林市では交通死亡事故非常事態宣言を発令。警察署など関係機関と事故防止に取り組んでいます。

では、事故を防ぐには。現場を知る警察署に聞きま



てげてげ運転と 高齢者による事故が特徴

現状を知る

現場を知る警察の分析で
事故の原因と特徴を探る



宮崎県小林警察署
交通課 企画安全係
とだか しげる
戸高 茂 係長

小林警察署管内(小林市・高原町)の交通事故は減ってきており、さまざまな取り組みと、運転者の心がけの成果だと思えます。しかし、死亡事故が多発したことはとても残念です。

てげてげが事故に

事故の原因は、てげてげ運転(わき見・前方不注意・ぼんやり運転など)が最多です。しかし、運転者が、てげてげ運転をしないという強い意識があれば防げることです。疲れたときは休憩するなど事故原因を回避するよう注意してほしいで

す。また、シートベルトの着用が生死を分けることがあります。後部座席での着用も義務化されていますので、心がけてください。

高齢者の事故が増

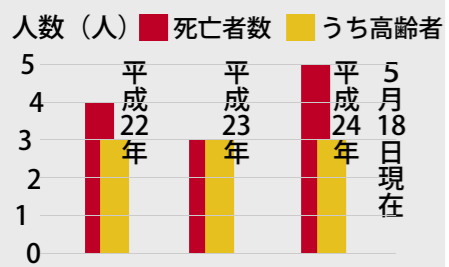
この地域は、高齢者の事故が多いのが特徴です。死亡事故は、昨年から3件全て、一昨年から4件中3件で高齢者が犠牲になっています。また、事故を起こした人の割合も高齢者が高いです。運転の衰えは誰でも必ず訪れるものです。そのことを自覚して安全運転をお願いします。

意識が事故を防ぐ

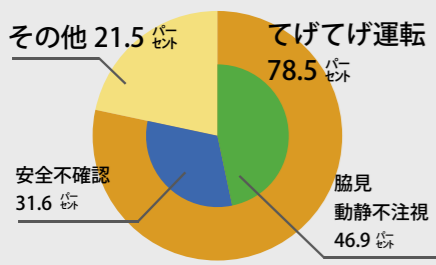
警察では、取締りや交通安全教育、規制など交通事故防止に取り組んでいます。しかし、交通安全は、一人一人がルールやマナーを守るという強い意識が必要で、それだけで、事故はかたり防げると思いません。交通事故、死亡事故ゼロへ、皆さんと取り組んでいけたらと思っています。地域で皆さんが集まる機会があれば、そこで交通安全について呼びかけたいと考えています。ぜひ、声をかけてください。そして、ぜひ参加ください。

DATA

1 交通死亡事故の推移



2 事故の原因別 (平成23年中)



DATA

小林警察署管内の
人身交通事故の特徴

- 平成24年4月末現在
- 発生時間は18時から19時が14・0割、8時から9時と10時から11時までが9・6割と多い
 - 国道の事故が全体の52・6割、うち国道268号線が24・6割、国道221号線が22・8割と多い
 - 高齢者(65歳以上)の事故が全体の28・1割と最多
 - 違反の特徴は脇見動静不注意が51・8割と多い
 - 単路での事故が51・8割と最も多く、交差点とその周辺での事故が33・9割と多い
 - 管内1日あたりの事故発生件数は(物損事故含む)は平均で4件
 - 追突事故が全体の39・5割と最多で、出会い頭の事故が25・4割となっている



写真提供/小林警察署

写真はイメージです